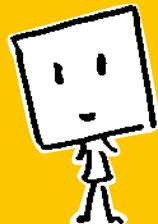


はーい！

男と女が共に歩むための情報誌

Hi,あきしま

vol.26
2008.10



特集 ママの応援団

● INFORMATION

配偶者暴力防止法（DV法）の改正について

● BOOK GUIDE

『子どもを大切にする国・しない国』

～子育てのなかのしあわせ格差を考える～

『おひとりさまの老後』ほか

平成19年度の昭島市市民意識調査で、子育てをしやすい環境づくりに必要なことは、「保育所や児童館などの設備の充実」「子育ての経済的負担の軽減」と回答した人が6割近くをしめていました。また「子育てに関する相談・支援体制の整備」と回答した人が3割近くいるのも見逃せません。

毎日子どもと向き合って、孤軍奮闘しているママがたくさんいます。そこで、子育て中のママたちをサポートする活動に力をいれている「ぐう*ちょき*ぱあ☆塾」のイベントを取材してきました。

特集 の 応 援 寸

ぽかぽかランチ

5月23日「市民交流センタ」
に約30組の親子が集まり、10人の
スタッフにより「ぽかぽかランチ」
が開催されました。



ランチ

音遊びが終わると、グループに分かれランチループに参加しておしゃべりを食べながらおしゃべりをします。「思ったことをそのまま話す」「他人の言つたことを非難しない」「ここで話したこと、ここで話さない」の三大原칙を確認仕合い、ランチ則を確認しました。



ランチを楽しみながら、グループごとにおしゃべりを楽しむ様子

音遊び

初めは、「どれみdeぱれっと」と「ママRing」による音遊びで、絵や指人形を使って歌ったり、ピアノやバイオリンの演奏があり、ママも子どもたちもみんな楽しそうでした。次に、ペットボトルを使用した手作りの「マラカス」や「カスタネット」が子どもたちに配られ、みんなで合奏しました。手作りの楽器は、ペットボトルで出来ているとは思えないほど本格的な音色で、とても驚きました。

最後は、オリジナルの歌を披露してもらい、素敵な歌に聞き入っていました。



右 ペットボトルにアイロンビーズを入れて作ったマラカス
左 ペットボトルの底で作ったカスタネット

チケットを事前に購入するため、映画館へ行きました。料金は、1人1000円ですが、座席は赤ちゃんの分も入れて2座席確保できました。もちろん指定席です。

当日、受付を済ませて会場に向かう途中、入口近くの通路がパーテーションで仕切られ、「授乳コーナー」と「オムツ替えコーナー」が作られていました。

トイレにもおむつ交換台はあります。授乳コーナーには、ミルクに適しているので、混雑しないようにと臨時に作られたコーナーです。

授乳のお湯がポットで用意され、温かいお湯がポットで用意され、アーファーが用意されていました。

(次のページへ続く)



代表のともさんは、子どもが0~3歳の頃育児に悩み、先の見えない暗闇をさまよっている時に、心にあふれた思いを歌にして自分を奮い立たせていました。そしていつしか、子どもの成長と共に、ママたちを歌で励ましたいと強く思うようになり、ママと育児を応援するバンドとして2006年に「ママRing」を結成しました。

オリジナル曲の歌詞は、子育てを経験した人なら共感する部分が多いと思います。歌を聴いて涙した人も、勇気づけられた人もいるでしょう。自分を振り返って、子どもに優しく接することができるようになった人もいるでしょう。夜泣きがひどい、離乳食を食べてくれないと、過ぎてみれば些細なことも、その状況に置かれているママたちにとっては深刻な問題なのです。でも、それは子どもと真剣に向き合って、一生懸命育児に取り組んでいるということだと思います。ちょっと視点を変えたり、ゆっくり周りを見渡したりすることで、ずいぶん違ったものが見えてくるものです。ママが優しい気持ちで気分よく過ごせること、子どもにとっても一番よいことなのではないでしょうか。



赤ちゃんと一緒に

6月27日「MOVIE 昭島」で、赤ちゃん連れで映画が楽しめる「ママシネマ」が開催されました。

ママシネマ

Dear my little one

作詞・作曲/とも二

1 憋ったよね 憋りすきちゃったよね 目に涙溜めた寝顔 見ると胸が痛いよ
イライラしたよね キツイ事言つたよね あなたの話ちゃんと
聞けばよかったのにね
ああ 抱きしめて瞳見て話を聞けばよかった
落ち着いて冷静に話を聞けばよかった 私ダメなママだよね
あなたの気持ち 考えなかつた 疲れているついにまた寝る
いつも余裕がなくなるついにわかつてるので また繰り返してしまう
わかつてるので わかってるけど まだ繰り返してしまう
ごめんね…ごめんね…Yey yey yey yey Ah-
(あなたの気持ち 考えなかつた)愛しい我が子
なのに 涙濡れた 頬が痛いほど 胸を刺すよ

2 生まれた時は 元気ならそれでいい そう思つてたはずなのに
色々要らしちゃうね
あれもしたら これもしたらなんてね 小さな体で 積極ってくれたよね
ああ 春がきて夏がきて秋がきて冬になる頃 あなたは1つ年を重ねる
笑顔ありがとう 元気あががとう 生まれてくれてありがとう
いつか大人になってここを巣立つけれど 私はずつてあなたの味方
愛しているよ 何があつても 搂るがないこの気持ちだけは
ありがとう…ありがとう…Yey yey yey yey Ah-
(笑顔ありがとう 元気あががとう)パパとママの子
でよかった 小さな手を握って どこまでも 歩いてゆくよ
だから吐つてばかりでも キツイ事言つても 愛している
Lalalala…(大きくなるあなたを見るたび 瞳して胸が熱くなるよ
できなくていい 生きてさえしてくれればそれだけでいい
連れたっていい 泣いたり笑つたり怒つたり
色んな顔を見せるあなたが 全部好きだよ 大事だよ
かけがえのない My little one)どこまでも 歩いてゆくよ
だから落ちこぼれだつていい 立派じゃなくていい れごと好きだよ
君は宝物だよ 宝物だよ 愛しているよ

おむつ替えコーナーは、テーブルでおむつ交換台が作られ、ウェットティッシュが用意されました。床には裸足で上がるよう敷物が敷かれ、パンツタイプのおむつをはいている赤ちゃんのおむつ交換ができるようになりました。

入口では、スタッフの方たちが笑顔で迎えてくれて、会場の座席までママたちが持ってきた大きな荷物を持って案内してくれました。

赤ちゃんを連れていると、飲み

物を買いに行くのも大変です。その日は、「MOVIX昭島」のスタッフが注文をとりに来て、座席まで運んでくれるサービスまでしてくれました。

今回の映画は、『ナルニア国物語』です。館内は、赤ちゃんに配慮して、通常よりも音響を小さくし、照明も明るめにして上映しましたが、全く気になりませんでした。

『ナルニア国物語』は、通常より長めの映画なので、「大丈夫かな」と多少不安の声もありましたが、思つた以上に静かに映画を見ることができました。

みんなが赤ちゃん連れということでも、多少の赤ちゃんの声はお互い様です。最後は、子どもを抱っこして立ちながら映画を見ているママの姿がとても印象的でした。

おむつ替えコーナー



「ぐう*ちょき*ぱあ☆塾」と「MOVIX昭島」のスタッフの皆さん

ママたちからの感想

- 久しぶりに映画を見ました。みなさんお子さん連れなので少し泣いてもあまり気にせず見ることができました。ありがとうございました。次回を期待しています。
- 赤ちゃんが泣いてもお互い様なので、安心して見られました。もう少し音が小さくても大丈夫だと思います。とても良い企画ありがとうございました。赤ちゃんと映画なんて考えもしなかったのでうれしいです。

第1回目のママシネマにご参加くださいました。本当にありがとうございました。

至らない点は多々あったかと思いますが、「ぐう*ちょき*ぱあ☆塾」の皆様をはじめ、たくさんの方のおかげで、とても良い上映会が開催できたと思っています。

正直なところ、開催当日まで、おかあさんたちが集まってくれるか、無事に上映を終われるか心配でした。しかし、当日は朝早くからにもかかわらず、多くの方にご来場いただき、本当にうれしく思っています。上映中はシアターの中に待機しておりましたが、子どもたちが飽きても騒いで

も、歩き回っても全然気にしなくていいこの空間は、「いいな」と素直に思いました。

ポップコーンを食べながら、大きなスクリーンに映る映画を見て笑ったり、感動したり、そんな「映画館」の雰囲気をより多くのおかあさんたちに満喫していただきたいです。また、この「ママシネマ」がお子様の映画デビューのきっかけになって、映画を好きになってくれたらとても嬉しいです。

MOVIX昭島 橋本

グループの代表に伺いました。

きつかけ

「ほかほかランチ」は、昨年秋西東京市の子育て支援グループとの交流会を行い、双方ともお子さんが一緒に参加したにもかかわらず、ランチを取りながらゆっくりとおしゃべりができたことがヒントとなりました。その際、思わずサプライズで「MARRING」の歌もアカペラで披露してもらい、とても楽しく過ごすことができました。ちょうどその頃、昭島で活躍している遊びのグループがあり、ランチと音遊びをドッキングさせたら楽しいイベントになるに違いないとひらめき、話を持ちかけましたところ、快く引き受けていただきましたことができました。さつそくメンバーにも声をかけて、今春第一回目の開催を実現することができました。

第一回目を開催してみて「おかあさんは話す場を必要としている」「おかあさんの居場所作りは話す場をつくる」とだ」と再確認しました。

お予さんを中心としたつどいの広場は既に開催されていますが、おかあさん同士がゆっくり話せる場は、まだまだ充分ではないような気がします。

「ママシネマ」は、メンバーから「赤ちゃん連れでも気兼ねなく映画を見たい」という提案を受けたことがきっかけです。

実は私自身、大の映画好きのため、「是非おかあさん方に映画を見せてあげたい」と夢が膨らみ、無謀にも「MOVIE×昭島」へ直談判を試みました。

「1年ぐらいかけてMOVIE×サイドを説得することになるだろう」という私の疑惑は大きく外れ、逆に「MOVIE×昭島」の支配人の方から「是非やりましょう」というオファーをいたしました。

だき、今回第一回目開催を実現することができました。

「ママシネマ」では映画を楽しんでいたたくのはもちろんのこと、赤ちゃん連れのおかあさんを迎えるため、会場を準備してくださいました。「ママシネマ」では映画を楽しんでいたたくのはもちろんのこと、赤ちゃん連れのおかあさんを迎えるため、会場を準備してくださいました。

し、イベントを「○」と味わっていただきたいと思います。「思いやりは必ず伝わる」と信じています。

ママたちの居場所作り

「ほかほかランチ」「ママシネマ」共に素人のメンバーが主催するものですから、思わずハプニングが大いにあり、それもまた楽しいというスタンスで行っています。いざなは参加者であるおかあさん方が順次提供者になつていって、次の世代に引き継いでいくてくれたらと願っています。お密さんではなく一緒に作つていぐ仲間の輪を広げていくということです。「誰かが与えてくれるのを待つていてではなく、自分の居場所は自分たちで作つていきましょう」とおかあさん方に声をかけていきたいです。

たとえ小さなお子さんがいても、自分たちでやれることが必ずあるはずです。

私はそんな居場所作りをこれからも続けていきたいです。

是非ご活用ください!!

昭島市では、子育てに関する情報を下記2冊に掲載しています。「市役所本庁(保育係)・児童センター(ぱれっと)・保健福祉センター(あいぽっく)・東部出張所」の窓口で配布しています。



あきしま 乳幼児支援制度案内

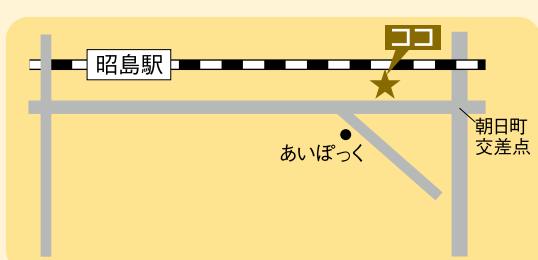


あきしま子育てハンドブック

男女共同参画ルーム おあしす

誰でもふらっと遊びに来てください。
友達とのちょっとした集まりやくつろぎのひとときには、「おあしす」を提供します!
団体登録すると、開室日以外も利用できます。
詳しくは市役所企画政策室へ。

開室日 水・土・日曜日（祝日・年末年始は除く）
午前10時～午後4時30分



配偶者暴力防止法(DV法)の改正について

あなた自身
あるいはあなたの
身近な人がDVに
あっていたら
あなたはどうしますか?

今の時代、私たちは誰でも暴力を受けない、安全に生活する権利を保障されるようになっています。DVの被害にあっていながら訴える事ができます。あるいは身近な人ならば、被害者のなんらかのSOSサインを読み取り、救済の手を差し伸べる事もできます。

プライベートな関係の中で起こる暴力は、なかなか表沙汰になりにくいものでした。そんななか平成13年に「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」(配偶者暴力防止法)が制定され、さらに平成20年1月11日から最新の改正法が施行されました。

● 改正のポイント ●

1.保護命令制度の拡充

- ①生命・身体に対する脅迫を受けた被害者も保護命令の申立てができるようになりました。
- ②被害者に対する電話・電子メール等が禁止されました。
- ③被害者の親族等も接近禁止命令の対象となりました。

2.市町村基本計画の策定

配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護のための施策の実施に関する基本計画の策定が、市町村の努力義務になりました。

3.配偶者暴力相談支援センターに関する改正

- ①市町村の施設において、「配偶者暴力相談支援センター」としての機能を果たすようにすることが、市町村の努力義務となりました。
- ②被害者の緊急時における安全の確保が、「配偶者暴力相談支援センター」の業務として明記されました。

4.裁判所から配偶者暴力相談支援センターへの保護命令の発令に関する通知

保護命令を発令した場合、裁判所は速やかに、保護命令を発したことやその内容を、被害者が相談等をした「配偶者暴力相談支援センター」に通知することになりました。

DVの被害にあっている人々、そして周囲にいる人々が訴え、救済を求める事ができるように、福祉・医療・警察・教育・人権擁護など各分野の機関や職員・委員が協力して、迅速かつ実効性のある取り組みをしなくてはなりません。そのためには、私たち一人ひとりも、情報提供努力義務を持つことになります。

また人権を守ることの正当性を理解してもらう社会全体の教育及び啓発も重要になります。

 ご相談は… 

昭島市役所 042-544-5111 8時30分～17時15分
(土・日・祝日・年末年始を除く)

東京ウィメンズプラザ 03-5467-2455 9時～21時 (年末年始を除く)

東京都女性相談センター 03-5261-3110 9時～20時 (土・日・祝日・年末年始を除く)

東京都女性相談センター 042-522-4232 9時～16時 (土・日・祝日・年末年始を除く)
(多摩支所)

警視庁総合相談センター 03-3501-0110 8時30分～17時15分
(土・日・祝日・年末年始を除く)

BOOK GUIDE

新しく購入した本を紹介します。
男女共同参画ルーム「おあしす」に
ありますのでご利用ください。

☆ 子どもの豊かな成長を育むために

『忙しいパパのための子育てハッピーアドバイス』

明橋 大二 他
一万年堂出版 2007

夫婦で一緒に読めば、互いの立場を理解し合い、家庭円満。子どもは明るく元気に育つ。



『子どもを大切にする国・しない国』

～子育てのなかのしあわせ格差を考える～

浅井 春夫
新日本出版社 2006

子どもを大切にする国への道を阻むもの、「保育の質」を向上させるものは何か、日本の家庭は子どもらしい生活の場となっているか、等。

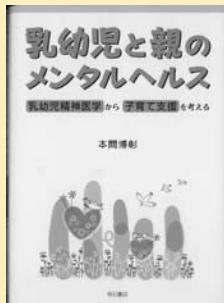


『乳幼児と親のメンタルヘルス』

～乳幼児精神医学から子育て支援を考える～

本間 博彰
明石書店 2007

著者が長年にわたる児童相談所等での臨床経験や研修会等で話した内容をまとめた実践書。



☆ ひとりでも大丈夫

『不器用』

野田 聖子
朝日新聞社 2007

著者は働く女性なら誰でも感じる生きにくさとも向き合い、「今がいちばん自分らしい」と語る。



『おひとりさまの老後』

上野 千鶴子
法研 2007

結婚していても最後はひとり。どこでどう暮らすか、誰とどうつきあうか、おカネはどうするか等。



☆ 男女共同参画を実現するために

『男女共同参画と男性・男児の役割』

原 ひろ子 他
明石書店 2007

JAWW(日本女性監視機構)は、2007年「婦人の地位委員会」国連会議での日本政府が提言をするために、男女共同参画の観点から男性と男児の状況を点検し、報告書を作成。内容は日本政府と地方公共団体における取り組み、家庭・地域における男女共同参画と男性・男児の役割等。



編集後記

イラスト オンマ 前川 佳津恵 編集委員
安部 兼本 富士子・原 幸子 由美子

・『Hi,あきしま』が、「男女共同参画」実現のための情報誌として皆様に愛される誌面作りを目指します。(幸)
・日本ではどの市も「男女共同参画」のテーマで活動があるようだ。国や時代で変わってくる男女の理解：ふれむ、興味深い(佳)

・虹は何色?と尋ねる。日本人は七色と答えるが他民族は違う答えをする事も。他者理解には努力が必要なようだ。(直)
・お母さん一人で抱え込まないで、家族や友人、地域ぐるみで子育てできる「あきしま」になるといいですね。(由)
・『Hi,あきしま』を一人でも多くの方に読んでいただきたい!という思いから今回編集委員に参加させていただきました。結果はいかがでしたでしょうか?(富)

